

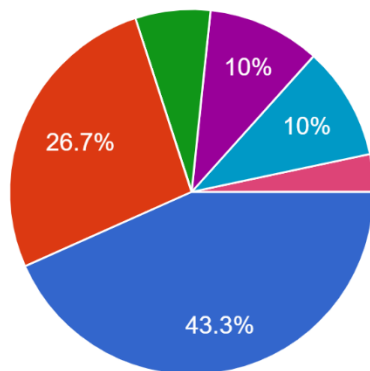
## 慢性痛集学的診療セミナー アンケート集計結果

2020年10月17日(土) 14:00~17:00 (ハイブリッド開催)

参加者数 計57名 (会場:23名 オンライン:34名)

あなたの職種を教えてください。

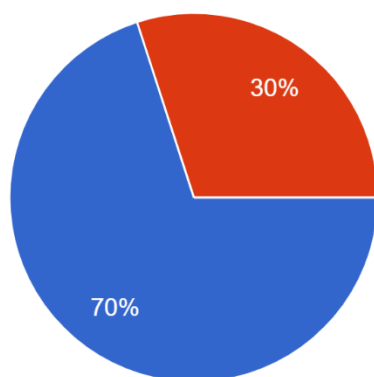
30件の回答



- 医師
- 理学療法士
- 作業療法士
- 看護師
- 歯科医師
- 薬剤師
- 整体師 (カイロプラクター、マッセンジャー認定資格)

今回のセミナーの感想をお聞かせください。

30件の回答



- よかった
- まあよかった
- あまりよくなかった
- まったくよくなかった

### 本セミナーについてご意見・ご感想

- ・ 普段携わらないことを知ることができました
- ・ 慢性疼痛にリハビリテーションとして関わるには、セラピストに対する環境的な整備も必要であると感じました。
- ・ 音声が若干聞き取りにくいですが、ハウリングもありました。ビデオ参加の先生の講義時には聞きやすかったので会場の音声の問題かと思います。
- ・ 認知行動療法についてよくわかりました。難しいと感じました。
- ・ 多職種の立場からの講演が聞けて、良かった。
- ・ 所用により 16 時 30 分で退出させて頂きます。本日はありがとうございました。
- ・ 当方、平日午後はデイサービスに出張に行くので、他施設のやっている事が知れて参考になりました。
- ・ 認知行動療法について理解が深まった。
- ・ 慢性疼痛がある患者さんは、薬物での治療を希望されて多数の薬剤に頼られておられます。薬剤を増やしていくのではなく、日々の運動療法を定着させて薬剤を減量していくことで、患者さんの QOL 向上に繋げていけるのではないかとということが、今回の講演で再確認することができました。ありがとうございました。
- ・ リハの関わりがわかってよかった
- ・ わかりやすく、目の前の課題のヒントを得ることができました。オンライン非常に良かったです。
- ・ 多職種、多領域の講師によるご講演を拝聴することができて、良かったです。
- ・ 慢性疼痛に対して運動療法で実際に治療を行う方法や現状などの意見が聞けて勉強になりました。
- ・ セミナーの初めの方では音声がかえにくかった点、PDF 資料で不鮮明な箇所がありました。全体的には分かり易いお話でした。
- ・ 集学的なアプローチの重要性は理解できたが、当院で展開していく場合はドクターをはじめ看護や他部門に共通言語として理解してもらわないといけないことも多いと感じた、セミナーを通して、大変勉強になりました。多職種の理学療法士、公認心理士の先生方のご講演は特に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 認知行動療法について理解が深まった。

### 今後どんな企画を希望されますか。

- ・ 慢性痛患者さんの症例提示をしていただき、痛みセンターや連携施設での具体的な治療内容や経過を教えていただければ幸いです。

- ・貴重なお話しを東北地方でも聞く機会を与えてくださり感謝です。このようなハイブリッド型のセミナーはコロナの流行後も続けていただきたいです。
- ・症例検討(薬物の使い方やリハ、認知行動療法)などをもっと知りたい
- ・デンマーク等の慢性疼痛治療の最前線を紹介して頂けると嬉しいです。
- ・もう少し具体的な方法についての講義が聞きたい
- ・薬物減量に至った症例を、どれくらいの期間でどれくらいの量を減量できたのか知りたいです。
- ・入院プログラム、座学の流れ、家族との関わりなど
- ・①重症な症例。成功症例、困難症例など。②脳の器質的変化
- ・集合的治療のトラブル事例や難渋した事例の共有
- ・今後は薬物治療などについて講演いただければと思います。
- ・ケーススタディ
- ・もう少し具体的な方法についての講義が聞きたい

### このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

30件の回答

